

## On Demand Seminar

# 勝つための方程式

今後のドルの展望と年末年始  
相場の注意点について

2009年12月23日

講師 小林芳彦

(Oct16)  
おさらい

# ドルインデックス Daily

U.S. DOLLAR INDEX CASH .. daily OHLC plot

ドルの下落トレンドははまだ継続。多少の反発があってもおかしくないが7650から7700にかけてはしっかりと戻り売りするインターバンクが多いのではないか



As of 10/16/09

(Nov24)

# ドルインデックス Daily

Date = 11/24/09 o/h/l/c = 75225 75450 75144 75312 +0.227

U.S. DOLLAR INDEX CASH .. daily OHLC plot



非常にきれいなダウトレンドチャンネルが描けておりドル売りのトレンドがまだ継続すると考える。7450が切れれば、次は73台ミドルをトライするドル売りが続くと考えている。チャートから見れば戻り売り回転には見えない。

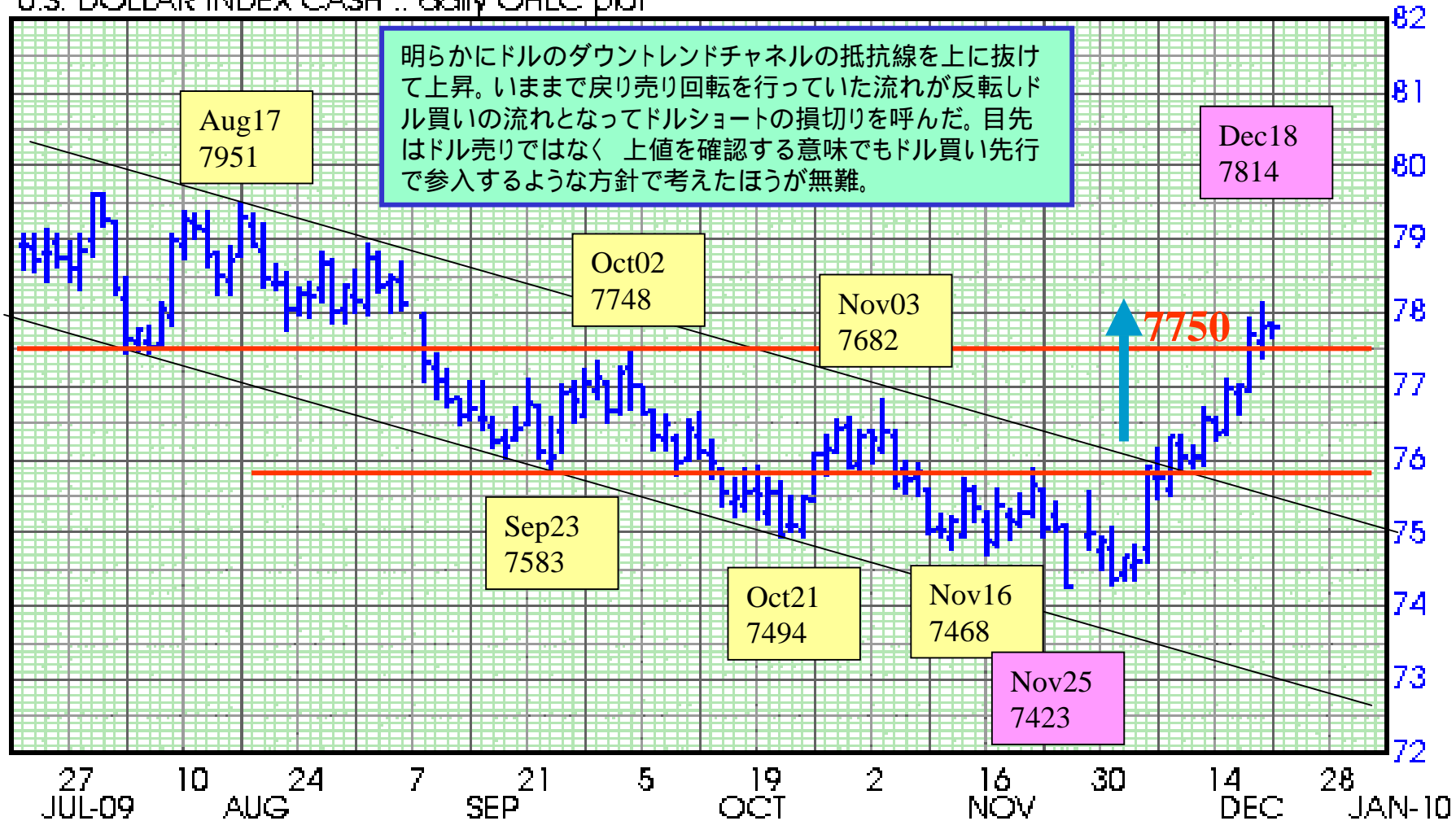
As of 11/24/09

(Dec21)

# ドルインデックス Daily

Date = 12/21/09 o/h/l/c = 77856 77856 77659 77815 -0.006

U.S. DOLLAR INDEX CASH .. daily OHLC plot



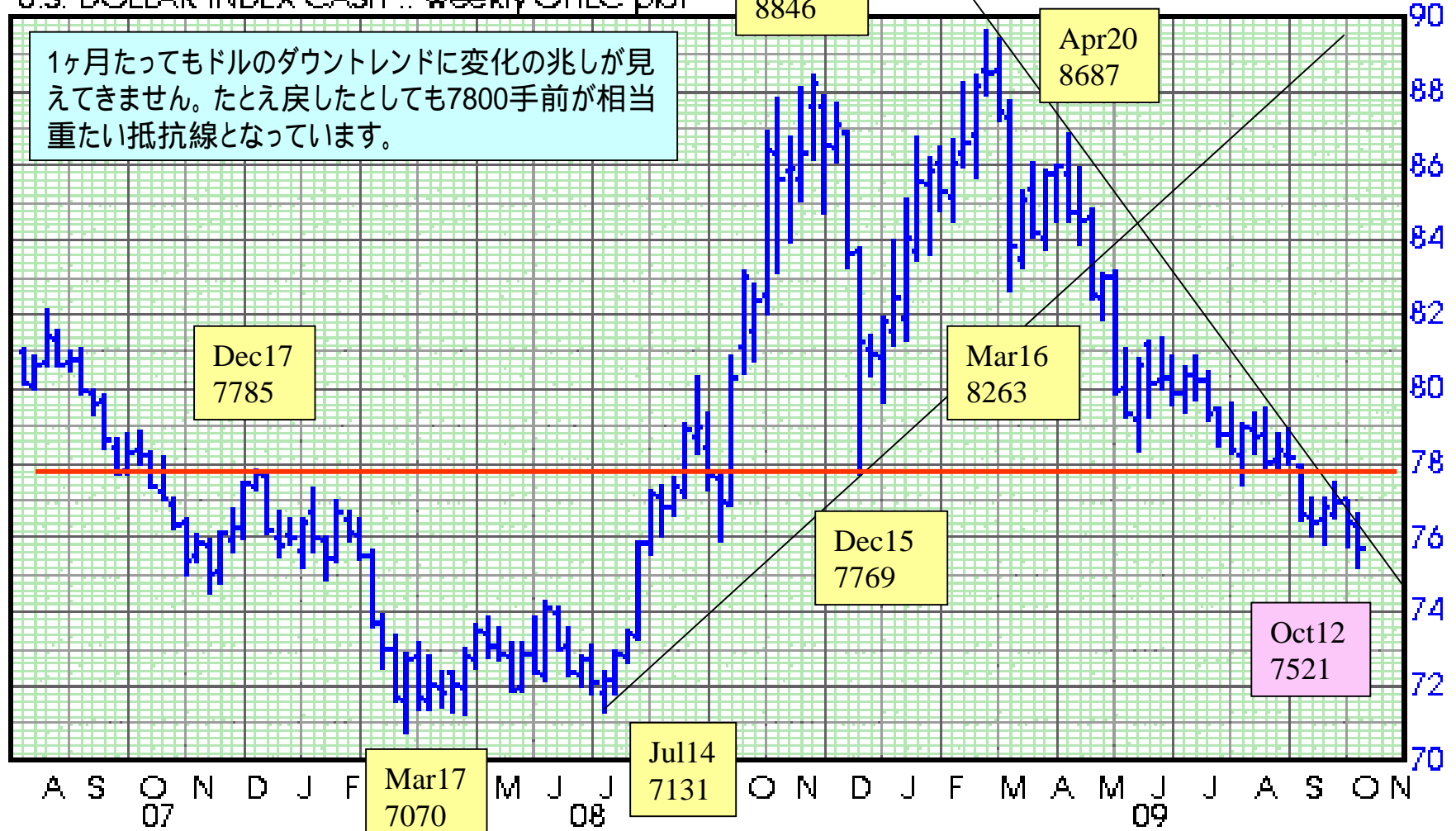
As of 12/21/09

(Oct16)  
おさらい

# ドルインデックス Weekly

U.S. DOLLAR INDEX CASH .. weekly OHLC plot

1ヶ月たってもドルのダウントレンドに変化の兆しが見えてきません。たとえ戻したとしても7800手前が相当重たい抵抗線となっています。



As of 10/12/09

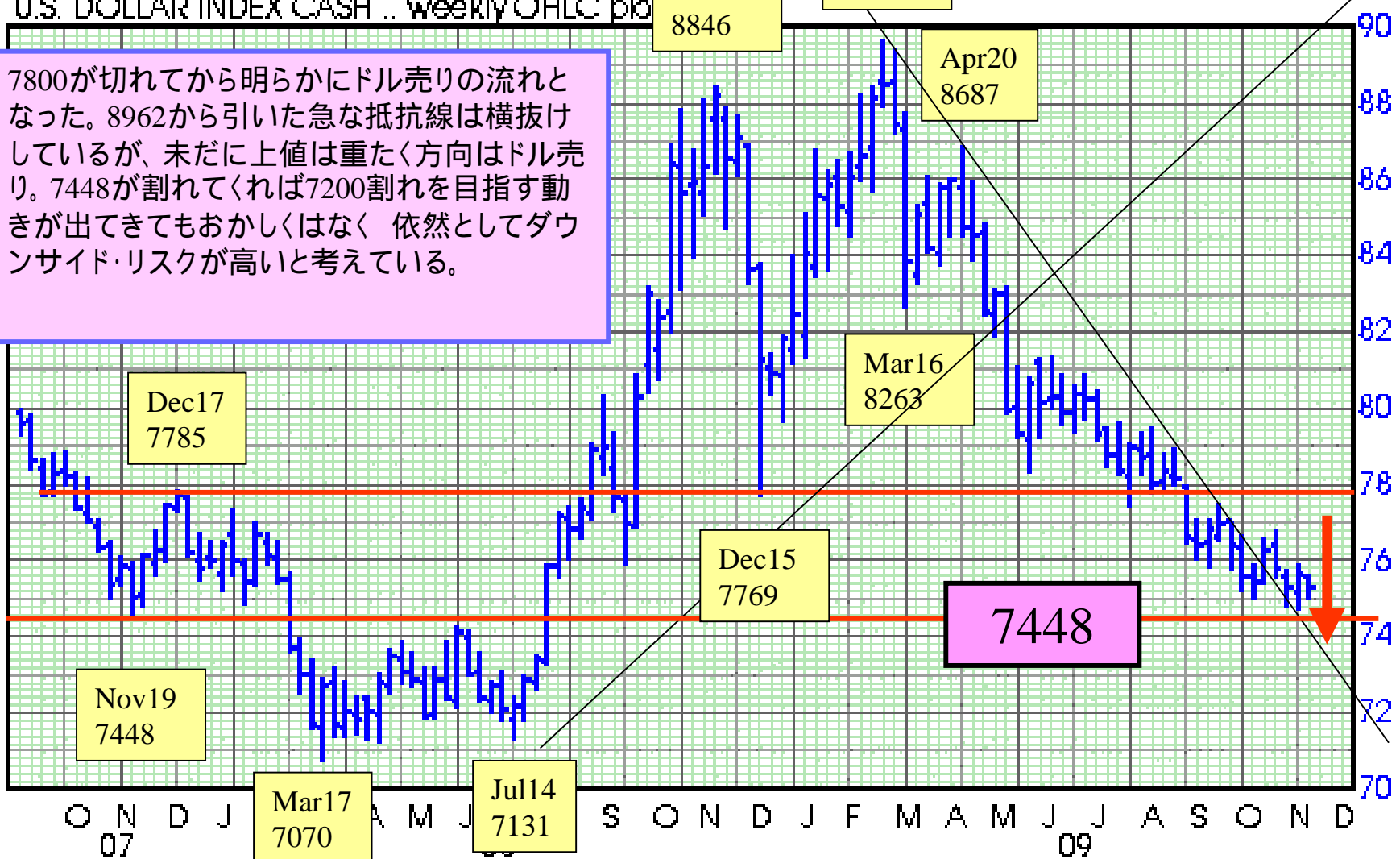
(Nov24)

# ドルインデックス Weekly

6

U.S. DOLLAR INDEX CASH .. weekly OHLC plot

7800が切れてから明らかにドル売りの流れとなった。8962から引いた急な抵抗線は横抜けしているが、未だに上値は重たく方向はドル売り。7448が割れてくれば7200割れを目指す動きが出てきてもおかしくはなく 依然としてダウンサイド・リスクが高いと考えている。



As of 11/23/09

@ Barchart.com

(Dec21)

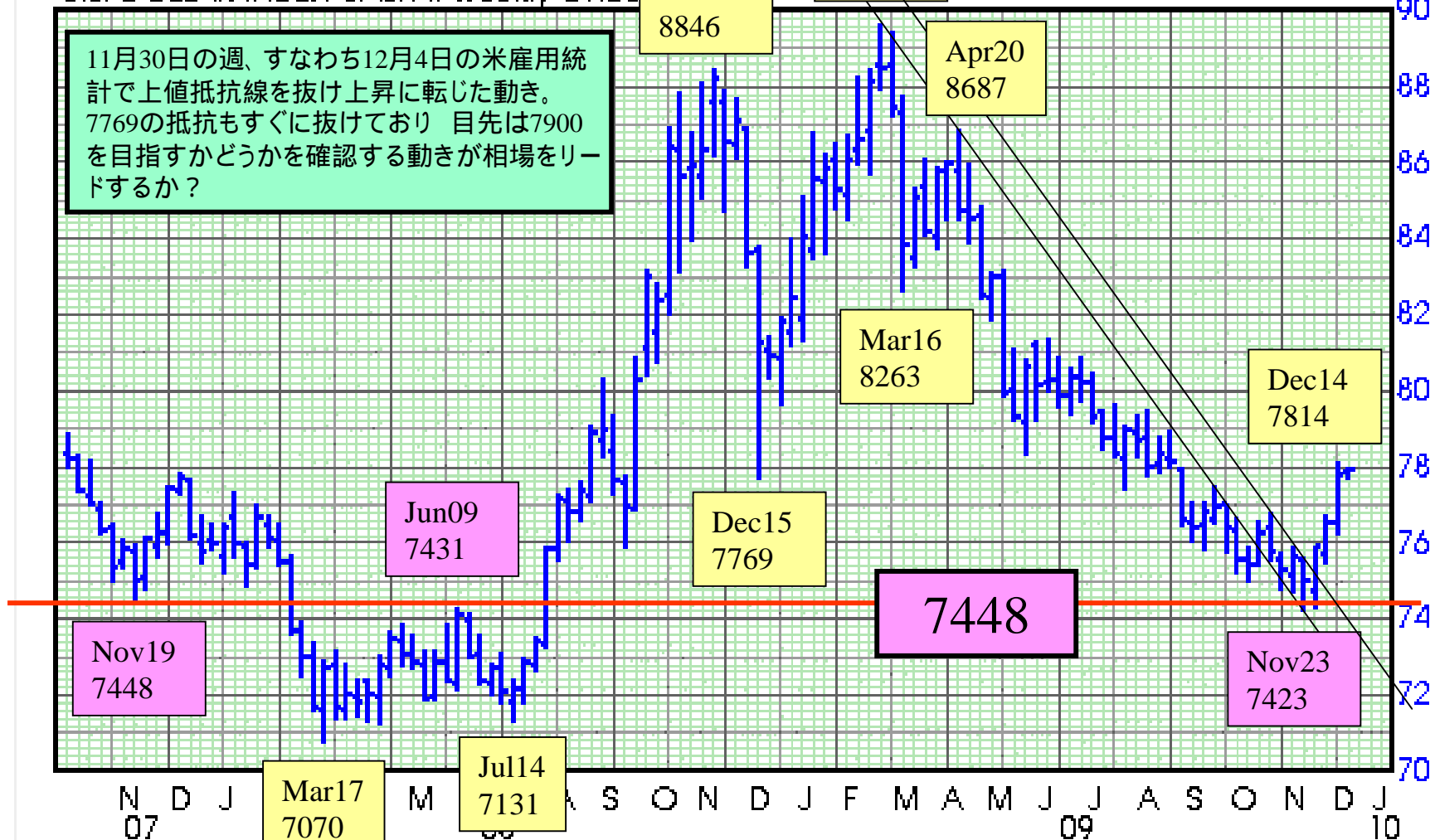
# ドルインデックス Weekly

7

Date = 08/03/09 o/h/l/c = 78200 79073 77428 78975 ±0.628

U.S. DOLLAR INDEX CASH .. weekly OHLC

11月30日の週、すなわち12月4日の米雇用統計で上値抵抗線を抜け上昇に転じた動き。7769の抵抗もすぐに抜けており 目先は7900を目指すかどうかを確認する動きが相場をリードするか？

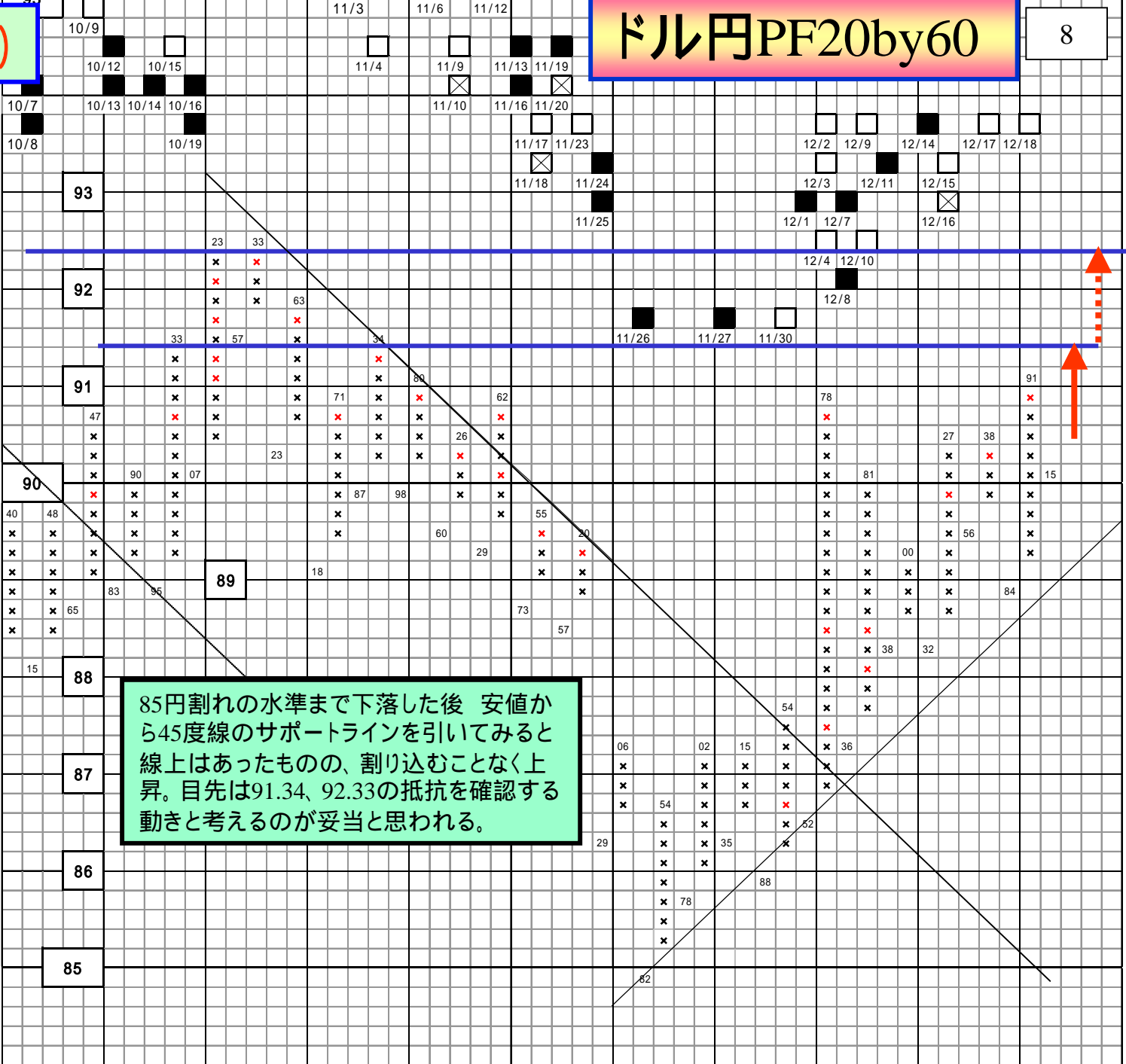


As of 12/21/09

(Dec21)

ドル円PF20by60

8



85円割れの水準まで下落した後 安値から45度線のサポートラインを引いてみると線上はあったものの、割り込むことなく上昇。目先は91.34、92.33の抵抗を確認する動きと考えるのが妥当と思われる。



# ドル円 日足 チャート

(Oct16)  
おさらい

US 一ツク(BID) 検索

ダウトレンドチャネルの中で88.01で止まったのは強いサポートラインの線上だったから。97.79から引いた抵抗線を切り上げて目先は上昇する展開の可能性が高い。

2009/10/14 始値:89.68 高値:89.90 安値:88.83 終値:89.43  
単純移動平均: 短期[5]89.42 中期[13]89.44 長期[21]90.07  
一目均衡表: 基準値[26]90.30 転換[9]89.23 先行1[26]93.76 先行2[52]94.69 遅行[26]



始値: 高値: 安値: 終値:90.90

160

(Nov24)

# ドル円 日足 チャート

10



# ドル円 日足 チャート

(Dec22)

USD/JPY 日足 ロソク(BID) 検索

2009/12/22 始値:91.17 高値:91.48 安値:90.99 終値:91.34

一目均衡表: 基準値[26]88.15 転換[9]89.60 先行1[26]90.16 先行2[52]90.65 遅行[26]---



始値:91.17 高値:91.48 安値:90.99 終値:91.34

200

(Oct16)  
おさらい

# ポンドドル 日足 チャート

12

GE 一ツカ(BID) 検索

2009/04/08 始値:1.4728 高値:1.4745 安値:1.4632 終値:1.4712

単純移動平均: 短期[5]:1.4749 中期[13]:1.4563 長期[21]:1.4399

一目均衡表: 基準値[26]:1.4305 転換[9]:1.4533 先行[126]:1.4389 先行[252]:1.4437 遅行[26]:1.5151



1.5700割れをトライしに行って失敗。ショートが溜まってきたところにユーロポンドでのユーロロングの損切りが重なって、ユーロポンドが暴落。ポンド急騰に結びつき 日足の雲に接近中。  
1.6448 - 1.6511に横たわっている一目均衡表 日足の雲付近では上値が重くなる可能性が高い気がしている。

始値: 高値: 安値: 終値:1.6352 160

(Nov24)

# ポンドドル 日足 チャート

13



# ポンドドル 日足 チャート

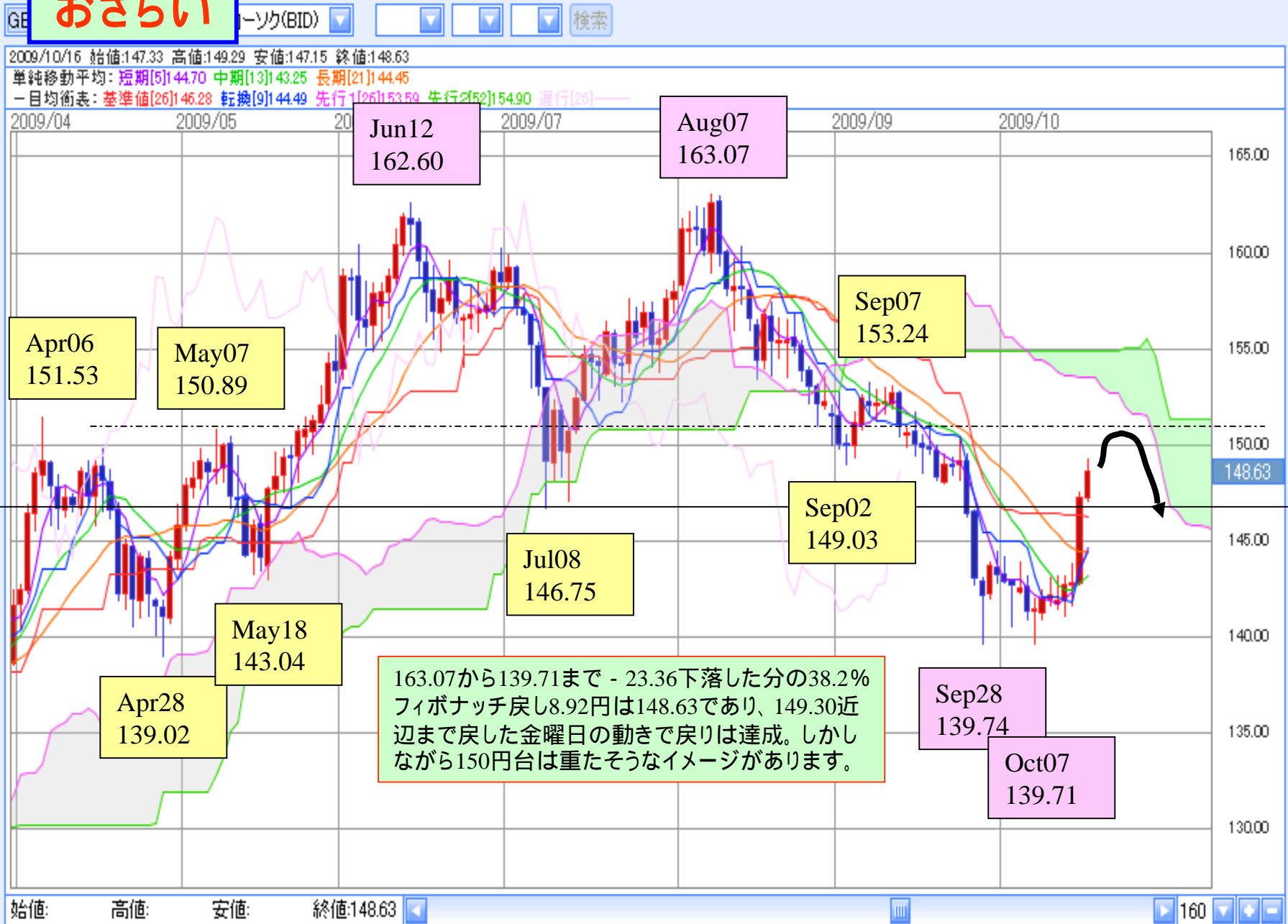
(Dec22)



クリアに1.6000が割れて下落を始めた場合には1.5803を狙いに行く可能性が出てきます。ドル買いの動きが強く いままで溜まっていたポンドのロングが切られる展開となる可能性大。1.5708が切れると大きな調整となると考えられ、安易な買い下がり禁物。ドル買いの流れに乗ってポンドは戻り売りで対応するインターバンクが多いような気がする。

(Oct16)  
おさらい

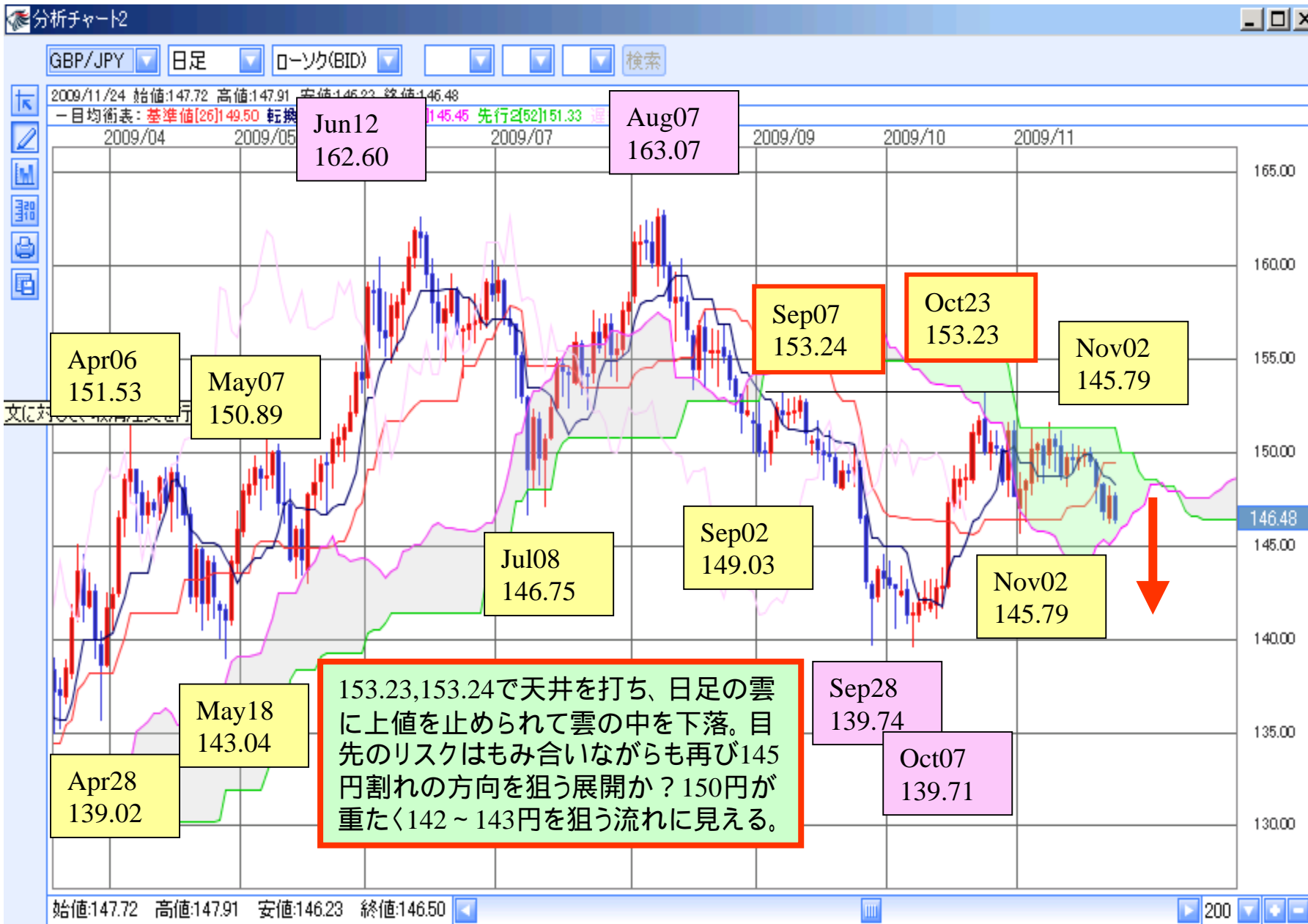
# ポンド円 日足 チャート



(Nov24)

# ポンド円 日足 チャート

16





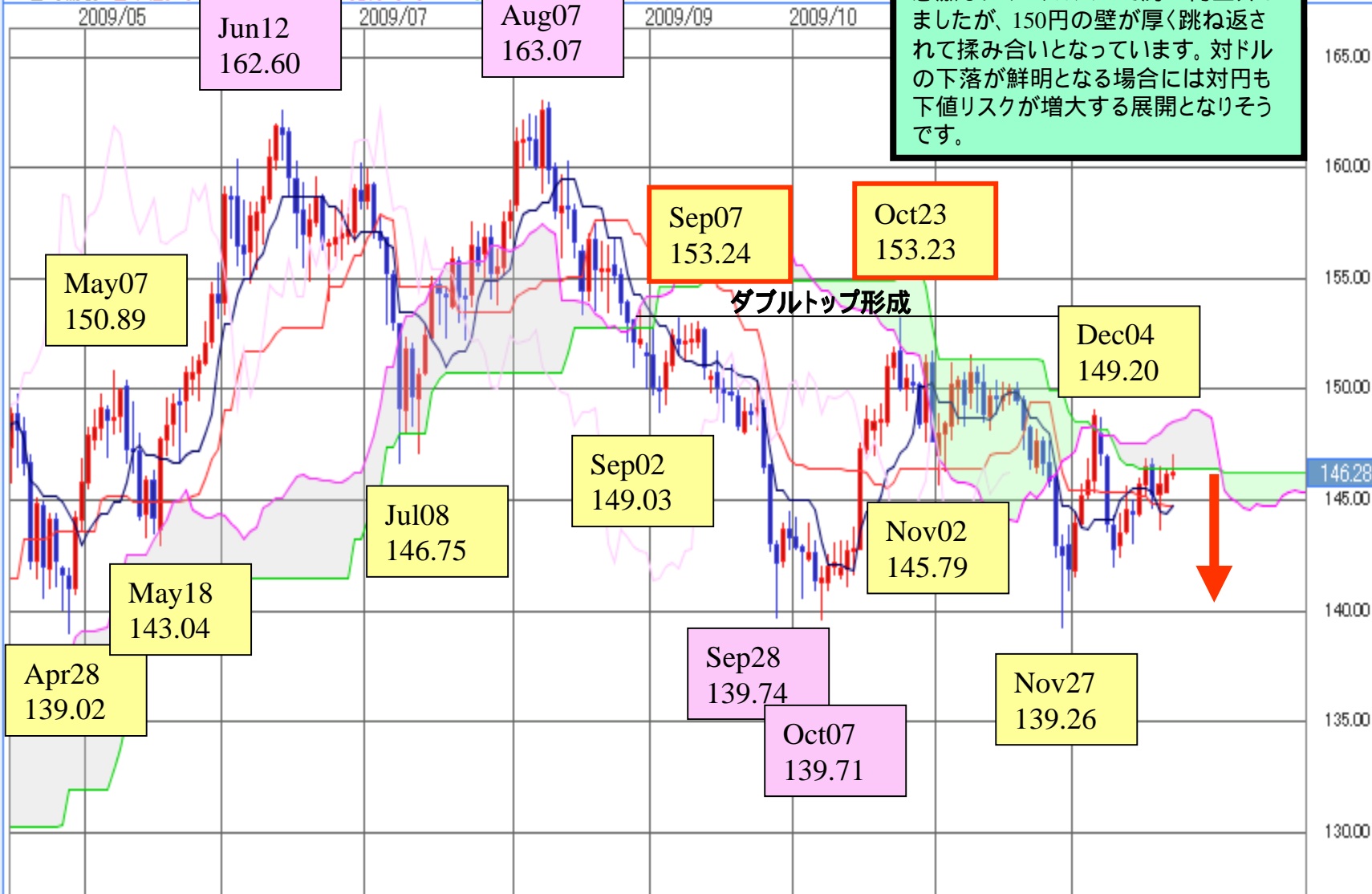
# ポンド円 日足 チャート

(Dec22)

GBP/JPY 日足 ローソク(BID) 検索

2009/12/22 始値:146.17 高値:147.05 安値:146.01 終値:146.28

一目均衡表: 基準値[26]144.80 転換[9]144.76 先行1[26]148.56



始値:146.17 高値:147.05 安値:146.01 終値:146.28

## 今後の中期トレンドについて

- 目先のドル買いにこわごわ付いてゆく方針。高値警戒もあり、市場でロングポジションが溜まることがリスクであるため、ドル買いした場合にはストップを入れておくことをお薦めします。
- ドル円よりも他通貨ドルでの他通貨売り・ドル買いポジションが面白そう。他通貨が下落する場合対円でも上値が重たくなる可能性があり、ドル円、クロス円ともに高値でのロング構築は避けたい。
- ドルの金利が上昇するのは来年2Q以降(3Qか?)それまで米景気の回復を裏付ける数字と悪化の数字とが交互に出てくる可能性がある。
- 日本は日銀の広義の流動性供給、量的金融緩和で急激な円高は無くなった。次にドルが下落した場合87 - 88円程度で止まればドルの本格的な反転もありうる。
- クロス円の取引は上昇するドル円と下落する他通貨ドルに挟まれ方向感がかきりしないため、長く保有することには不向き。アジア時間はドル円の流れに乗り、欧州・NY時間は他通貨ドルの動きを中心に考えよう。
- 豪ドル円、ニュージー円の上値が非常に重たくなってきており欧州通貨の対円の動きと異なっている。オセアニア通貨での買い下がりには充分注意したい。
- クリスマスは極端に流動性が低下します。特に25日は全世界で日本のみ。午後3時以降値段は出ませんのでご注意ください。逆に正月は世界中が新年度入りでやる気充分。12月30日の受け渡しは1月4日となるため、既に新年度。海外勢の動向には充分注意を払うべきです。ファンドの仕掛けなどが入る可能性もあります。

### <リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師(所属会社を含む。)は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

### <注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、レバレッジ効果(想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み)により、大きな利益を得る場合がありますが、元本(預託金)を上回る損失発生の可能性があり、元本や利益を保証するものではありません。

特に、マイナー通貨(流動性の低い通貨)の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。また、スワップポイント(通貨間の金利差調整額)についても通貨ペアやポジションの状態(売りまたは買い)によっては、プラスの場合もあれば、マイナスの場合もあります。

当社では、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社(相対取引)となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断によりお取引ください。

商号:ヒロセ通商株式会社

業務内容:第一種金融商品取引業

登録番号:近畿財務局長(金商)第41号

加入協会:金融先物取引業協会 会員番号1562